



# 観光推進特別委員会

## 本県観光の弱点克服策を提言

### DCを弱点克服の契機に

H22・23年度にかけて、県とJRの共同観光イベントである「ディスプレイネーション・キャンペーン(DC)」が開催されます。

後藤は、DCが数億円を投じるイベントであることから、単なる一過性のイベントに終わらせるのではなく、本県観光が抱える「弱点」を克服する契機としなければならぬことを提言しました。

本県観光は首都圏から温泉地を直線的に往復するだけの典型的な「直行直帰型」が中心

であることから、観光振興が必ずしも地域経済

### 食、土産、周遊、公共交通の強化を提言

#### 公共交通の強化を提言

後藤は、具体的克服策として①地元農産物を積極活用した「食」の魅力を高めること。②ブランド力の乏しい「土産」を磨き上げ、PRすること。③個々の歴史的資源にストーリー性を持たせることにより、史跡や街なかを「周遊」できる企画を作る。④JR駅から降りた先の観光地

の活性化に繋がっていないとは言えない現状にあり、この克服がカギです。

間を結ぶ「二次交通」であるバス等の公共交通の活性化に繋げる。④の4点を指摘し、観光が地域経済に潤いをもたらす、地域おこしに繋がるような振興策を提言しました。

特に、公共交通は、本県観光の最大の「弱点」であり、後藤は、新潟県や高知県における観光と公共交通を結びつけた振興策を視察するなど、研究を重ねてきました。

本議会では、特に、観光地間を結ぶ企画観光路線の新設を県が積極的に支援することを提言しました。6月には、「富岡製糸場」と磯部温泉のある「磯部駅」間を結ぶシャトルバスの運行が始まるなど、各地域で動きが出てきています。

観光を公共交通活性化の起爆剤に  
上…高知県の路面電車の状況を視察  
下…上信電鉄の活性化の取り組みを支援



## 地域活動 報告 (豊岡地区)

### 国道18号と交差する市道を拡幅改良 新設信号に地元要望の名称を付与 (中豊岡町)

国道18号に押しボタン式信号が新設されたことにより、交通量が増えたものの、市道が狭く車両のすれ違いにも支障がある問題がありました。後藤は、地元町内会と連携し国と協議を進め、市道の拡幅工事を行いました。

また、信号に名称が無かったことから、地元要望に沿って「中豊岡南」と名称を付与しました。



車両のすれ違いも困難な市道を拡幅し、安全な走行を確保



地元要望に沿って信号の名称を付与

下小鳥、飯塚・飯玉、八幡の3地区での県政報告会を開催し、地域課題の取り組み等を報告しました。



5月14日 下小鳥地区



5月15日 飯塚・飯玉地区



5月30日 八幡地区